

昭和産業株式会社と辻製油株式会社の業務提携に関するお知らせ

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員新妻一彦）は、2022年8月5日開催の取締役会において、以下の通り、辻製油株式会社（以下「辻製油」といいます。）との間で、製油事業に関する業務提携を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

昨今、世界的に旺盛な油脂需要、天候不順による穀物の減産、地政学的リスクの顕在化、円安の進行などにより、穀物・植物油・エネルギー価格は高騰しており、依然その状況が継続しております。このような外部環境の変化を受けまして、今後は、より一層の製品供給の安定化、コスト低減、付加価値の向上が必要になるものと考えております。

当社は、製粉、製油、糖質、配合飼料などの幅広い事業を展開し、辻製油は、コーン油・菜種油を中心とした製油事業に加え、レシチンなどの機能性事業やアグリ事業を展開しています。上記の目的を達成するために、製油・糖質事業での連携を中心として、双方にとって競争力強化が見込まれる分野に関し、協同し取り組むこととしました。

なお、今後、資本提携についても両社で検討してまいります。

2. 業務提携の内容

本業務提携の骨子は下記の通りです。

- ① 製油・糖質事業連携による事業拡大と製品の安定供給体制の確立
当社グループで製造し、コーン油の原料となるコーンジャーム（とうもろこし胚芽：糖質製造の副産物）と辻製油・当社グループのコーンジャーム搾油設備・コーン油精製設備の有効活用による事業規模の拡大、製造の効率化、コスト低減、糖質・コーン油製品の安定供給を図ります。また菜種の搾油・精製設備についても相互で有効活用し、同様の目的を図ります。
- ② 原料、資材の効率的調達
搾油原料、容器包装資材、工場副資材の共同調達により、コスト低減を図ります。
- ③ 物流拠点・ネットワークの共同活用
物流拠点・ネットワークの共同活用により、物流業務の効率化、コスト低減、製品供給の安定化を図ります。

- ④ 製品・サービスの付加価値・顧客満足度の向上
製品の相互供給、研究・開発・技術における相互協力を実施することで、付加価値の高い、安全・安心な製品の供給を図ります。
- ⑤ その他、双方にメリットのある経営資源の有効活用

3. 両社の概要

商号	昭和産業株式会社	辻製油株式会社
事業内容	小麦粉、植物油、糖化製品、二次加工食品の製造販売など	食用油脂等の製造および販売
設立年月	1936年2月	1947年4月
本店所在地	東京都千代田区内神田2-2-1	三重県松阪市嬉野新屋庄町565-1
代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員 新妻 一彦	代表取締役社長 辻 威彦
資本金	14,293百万円	30百万円

4. 今後の日程

両社メンバーによる業務提携分科会を設置し、今後のスケジュールおよび個別テーマの協議、検討を実施する予定です。

5. 業績への影響の見通し

本件に伴う2023年3月期の当社連結業績への影響については、軽微である見通しですが、今後の資本提携検討の進捗等に応じて連結業績予想に重要な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

以上

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞
昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当：赤松
TEL:03-3257-2042